

参 考 文 献

- 岩手県(2004) 岩手県地震・津波シミュレーション及び被害想定調査, 岩手県, 2004. 11
- 宇佐美龍夫(1979) 資料日本被害地震総覧, 東京大学出版
- 内田太郎・片岡正次郎・杉浦信男・小山内信智・岩男忠明・松尾修・寺田秀樹(2004) 地震による斜面崩壊危険度評価手法に関する研究, 国土技術政策総合研究所資料第204号, 2004年, pp. 94
- 神奈川県(1999) 神奈川県地震被害想定調査, 神奈川県, 1999. 3
- 気象庁(1996) 気象庁告示第4号, 平成8年2月15日官報, 第1831号
- 近畿地方土木地質図編纂委員会(1981) 近畿地方土木地質図解書, p. 152
- 栗原淳一・武澤永純・阪上最一・定村友史(2008) 地震時の大規模な土砂崩壊の土量と最大加速度との関係に関する考察, 砂防学会誌, No. 60, Vol. 5, pp. 54-59
- 建設省河川局(1997) 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例—急傾斜地崩壊防止工事技術指針一, 国土交通省河川局砂防部, 平成19年9月
- 建設省建築研究所(1998) 平成7年兵庫県南部地震被害調査最終報告書, 建設省建築研究所, 1998年
- 建設省土木研究所(2000) 平成12年(2000年)鳥取県西部地震緊急調査報告書, 建設省土木研究所, 2000年
- 国道交通省砂防部ホームページ : <http://www.mlit.go.jp/river/sabo/jirei.html>
- 小山内信智, 富田陽子, 秋山一弥, 松下智祥(2009) がけ崩れ災害の実態, 国土技術政策総合研究所資料, 第530号, 2009. 3
- 小山内信智, 内田太郎, 曾我部匡敏, 寺田秀樹(2005a) がけ崩れによる家屋被災範囲の設定手法に関する研究, 国土技術政策総合研究所資料第225号, 2005. 1
- 小山内信智, 内田太郎, 曾我部匡敏, 寺田秀樹, 近藤浩一(2005b) 簡易貫入試験を用いた崩壊の恐れのある層厚推定に関する研究, 国土技術政策総合研究所資料第261号, 2005. 6
- 埼玉県(2009) 埼玉県地震被害想定調査報告書, 埼玉県, 2009年1月
- (社)砂防学会(2004) 改訂砂防用語集
- 砂防便覧 平成20年版CD-ROM, 社団法人全国治水砂防協会発行, 平成20年3月
- 司 宏俊・翠川三郎(1999) 断層タイプ及び地盤条件を考慮した最大加速度・最大速度の距離減衰式, 日本建築学会構造系論文集, No. 523, pp. 63-70, 1998年
- 静岡県(2001) 第3次地震被害想定結果, 静岡県, 2001年5月
- 全国地すべりがけ崩れ対策協議会(2004) 崩壊土砂による衝撃力と崩壊土砂量を考慮した待受け擁壁の設計計算事例, 全国地すべりがけ崩れ対策協議会, 2004年6月
- 損害保険料率算出機構(2006) 地震保険研究8 自治体の地震被害想定における被害予測手法の調査, 損害保険料率算出機構, 2006年
- 損害保険料率算出機構(2009) 地震保険研究20 250mメッシュデータを用いた地震被害想定システムに関する研究, 損害保険料率算出機構, 2009年

- 宅地防災研究会(2007) 宅地防災マニュアルの解説第二次改訂版, 宅地防災研究会編,
2007年12月
- 地学団体研究会新潟支部(2005) 2004年新潟県中越地震—中越地震の被害と地盤—, 地
学団体研究会 新潟支部 新潟県中越地震調査団 編著, 2005年
- 千葉県(2008) 平成19年度 千葉県地震被害想定調査報告書, 千葉県, 2008年3月
- 塚本良則(1998) 森林・水・土の保全, pp. 31, 朝倉書店
- 東京都(2006) 首都直下地震による東京の被害想定, 東京都, 2006年5月
- 遠山茂行・中庸充・斉藤敬三 (1995) 六甲山地の断層と地すべり・崩壊の分布 1995
年1月17日兵庫県南部地震の斜面災害の素地, APA, No61-8 p61-66, 1995. 6
- 鳥取県(2005) 鳥取県地震防災調査研究報告書, 鳥取県, 2005. 3
- 土木研究所(2000) 2000年10月6日鳥取県西部地震緊急調査報告書, 土木研究所資料
No. 3769, pp. 163.
- 内閣府中央防災会議(2001) 東海地震に関する専門調査会(第10回)資料4
- 内閣府中央防災会議(2006) 首都直下地震対策専門調査会(第15回)説明資料3
- 長野県(2002) 長野県地震対策基礎調査報告書, 長野県, 2002. 3
- 新潟県(1998) 新潟県地震被害想定調査報告書, 新潟県, 1998. 3
- 日本応用地質学会 (1996) 地盤災害の実態と地盤条件, 応用地質 37巻, 4号pp. 94-106
- 日本道路公団(1999) 設計要領第一集, pp. 1-37
- 日本道路公団(2000) 設計要領第二集
- 日本道路協会(1999) 道路土木—擁壁工指針一, pp. 19-20
- 日本道路協会(2000) 道路土工—のり面・斜面安定工指針一, pp. 14, 23
- 日本の自然災害 1995~2009年, 日本専門図書出版, pp. 333, 2009. 07,
- 秦吉弥・森田格・倉岡千郎・木下慎逸(2007) ASTER DEMを用いた地震時の斜面崩壊危
険度評価, こうえいフォーラム, No. 16, pp. 77-83
- 兵庫県(1999) 兵庫県地震被害想定調査報告書, 兵庫県, 1999. 3
- 福島美光(2002) 距離減衰式の再構築と地盤増幅のモデル化, 月刊地球号外 37,
pp. 80-89
- 松岡昌宏, 翠川三郎(1995a) 国土数値情報を利用した地震ハザードの総合的評価, 物
理探査, vol. 48, No. 6, pp519-529
- 松岡昌宏, 翠川三郎(1995b) 国土数値情報を利用した地震時斜面崩壊危険度予測, 日
本建築学会構造系論文集, No. 474, pp. 59-66.
- 三木孝蔵(1996) わかりやすい岩石と岩盤の知識, 鹿島出版会, pp. 162-168
- 宮城県(2004) 第三次地震被害想定調査報告書, 宮城県, 2004. 11
- 若松加寿江・久保純子・松岡昌志・長谷川浩一・杉浦正美(2005) 日本の地形・地盤デジ
タルマップ, 東京大学出版会(製品シリアル番号: JEGM0998), 2005. 11
- Fukushima Y., Irikura K., Uetake T., Matsumoto H. (2000) Characteristics of
Observer Peak Amplitude for Strong Ground Motion from the 1995 Hyogoken

Nanbu(Kobe)Earthquake, Bulletin of the Seismological Society of America ,
vol. 90 no. 3, pp. 545-565

Y.Matsukura(1984) Slope stability analysis for “Murose” debris-slide
triggered by the 1949Imaichi earthquake, Annual Report of the Institute of
Geoscience, the University of Tsukuba, Vol.10, pp.63-65

謝辞

本研究を実施するにあたり，国土交通省近畿地方整備局 六甲砂防事務所には兵庫県南部地震，独立行政法人土木研究所 土砂管理研究グループ 火山・土石流チームには鳥取県西部地震，独立行政法人土木研究所 材料地盤研究グループ 地質チームには，新潟県中越地震で発生した崩壊地の GIS データを，岩手県，秋田県，栃木県，千葉県，東京都，神奈川県，山梨県，長野県，静岡県，滋賀県，京都府，和歌山県，鳥取県，広島県，徳島県，熊本県，宮崎県（自治体コード順）より急傾斜地崩壊危険箇所 の GIS データを提供いただきました。また，防災科学技術研究所の強震観測網（K-NET, KiK-net）や気象庁等の地震観測記録を使用させていただきました。

ここに記して謝意を表します。

【研究担当者】

アジア航測株式会社

鹿野 浩司，高山 陶子，松田 昌之（H22 年度）
花井 健太（H22 年度）

損害保険料率算出機構

リスク業務室

永島伊知郎（H22-23 年度），野中俊弥

火災・地震保険部地震グループ

須田純也（H22-23 年度），渡辺敬之（H21-22 年度）

※担当者の所属は研究実施時のもの